

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで

基準日 定時株主総会 毎年12月31日
期末配当 毎年12月31日
(中間配当を行う場合は毎年6月30日)

定時株主総会 毎年3月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社
大阪証券代行部
〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所
JASDAQ スタンダード市場

公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<https://www.ibokin.co.jp/ir/notice.html>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主の皆様への
利益還元に関する基本方針

当社グループは、株主の皆様への安定配当を継続することを基本としつつ、将来の事業展開と財務体質の強化のために必要な内部留保の充実を勘案して配当を行うことを基本方針としております。株主の皆様への安定配当が実施できるよう今後も努めて参ります。

また、内部留保資金につきましては、企業体質の強化に向けて財務体質の充実を図りながら、当社グループの経営基盤の整備・拡充等に有効活用し、当社グループの競争力及び収益力の向上を図って参ります。

なお、取締役会の決議により、会社法第454条第5項に定める剰余金の配当(中間配当)ができる旨を当社定款に定めておりますが、当面は定時株主総会を決定機関とした原則年1回の期末配当のみを行うことを基本方針としております。

	2019年12月期	2020年12月期 (予想)
1株当たり 配当金	30.0円	30.0円



兵庫県たつの市揖保川町正條379番地
TEL 0791-72-3531 (代表)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



BUSINESS
REPORT

第36期 株主通信

2019年1月1日～2019年12月31日



安全・安心な社会と
豊かな自然のために

株式会社イボキン
証券コード 5699

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループ事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社グループは当社及び連結子会社1社(株式会社国徳工業)で構成されており、解体事業、環境事業、金属事業の3つの事業セグメントを中心として、資源循環型社会形成のための総合リサイクル事業を営んでおります。

日本は戦後廃墟の中から猛烈に立ち上がり、その勤勉さと素晴らしい技術力をベースに、アメリカに次ぐ経済大国へと発展してきました。その姿は当時発展途上であったアジア諸国に希望を与え、そして日本に追いつき追い越せといったベンチマークの大きな役割を果たしてきたと思います。こうした先人達のお陰で国が整備され豊かな生活へと変化していく中で、多くの資源が都市のインフラの中に蓄積されてきました。ビル、工場、橋梁、機械設備、自動車、家電、携帯端末等々…これらは日本の誇る技術の産物であると同時にかけがえのない財産です。この豊富な都市資源は今では13億トンと推定され、これも世界第3位の蓄積量となっております。天然鉱山の少ない日本であるにもかかわらず、これまでみんなに残してきた豊富な都市鉱山は今や日本の誇る重要な資源となっております。しかし都市鉱山は天然鉱山と違い都市部にあるのでいかにして安全かつ安心に資源を抽出できるかが大変重要となって参ります。特にこれからの30年間は、オイル

ショック期からバブル期までの間に建てられた膨大な量の建物、プラントが建て替え期を迎えはじめ、解体工事が数倍の規模で発生して参ります。現在その安全性が大きな社会問題となっております。私達は都市鉱山の有効活用に徹底して取り組み、次の世代に安全安心な社会と豊かな自然を残していくことが使命だと考え、今後も事業活動に邁進して参ります。

株主の皆様には尚一層のご支援をいただきたく、今後とも宜しく願い申し上げます。

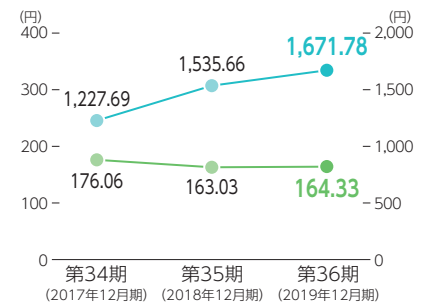
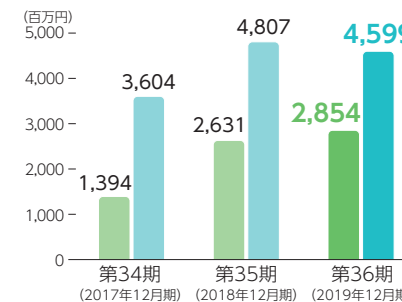
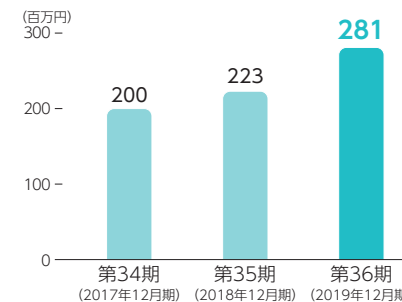
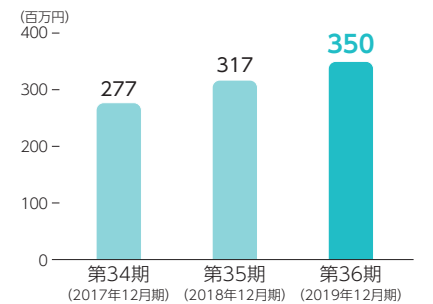
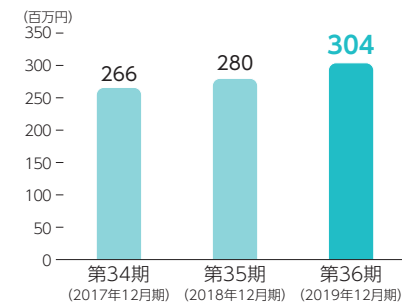
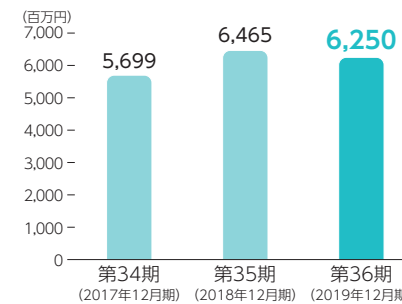
代表取締役社長

高橋克典



決算ポイント

解体事業及び環境事業は堅調に推移。
金属事業は取扱高は堅調に推移するものの、鉄スクラップ価格の下落が影響。



※2018年3月30日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、第34期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、算定しております。

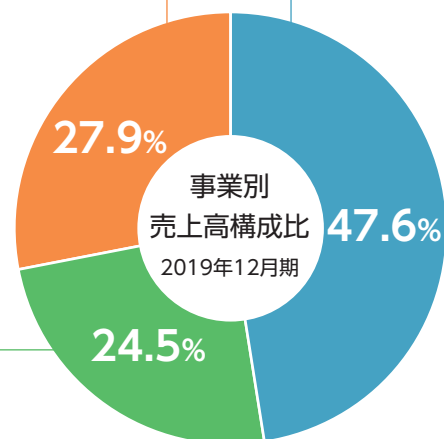


解体事業

1,743百万円
前期比26.3%増

解体工事の需要は堅調に推移し、化学プラントや重油タンクなどの大型案件15件を含め、209件の解体工事を施工しました。特殊な環境の中で施工する大型医療機器や産業機械等重量物の解体・撤去サービスも堅調に推移しました。

これらの結果、売上高は1,743百万円(前期比26.3%増)、営業利益は133百万円(同5.0%減)となりました。また、受注残高につきましても824百万円と順調に推移しております。



金属事業

2,972百万円
前期比16.6%減



スクラップの取扱高は61,074トンと堅調に推移しました。一方で、当連結会計年度における鉄スクラップ価格は海外市況の下落の影響を受けて国内価格も4月以降期末にかけて約30%以上下落しました。本セグメントの売上高はスクラップ相場に連動して変動します。仕入価格も販売価格と同様に相場に連動して変動するため、利益は相場変動による影響を受けにくい仕組みになっていますが、仕入から販売までの加工に日数を要するため、相場が短期間に急激に下落したり継続して下落し続けた場合にも利益が圧迫されることになります。

これらの結果、売上高は2,972百万円(前期比16.6%減)、営業利益は58百万円(同40.3%減)となりました。



環境事業

1,534百万円
前期比0.9%増

産業廃棄物の処理受託による売上高と、入荷した産業廃棄物を選別・加工したうえで再生資源として販売することによる売上高により構成されておりますが、産業廃棄物処理受託売上高は堅調に推移しました。また、小型家電や厨房機器などの金属とプラスチックなどの複合製品を破砕する大型シュレッダー設備を更新したこと及び再生資源販売の販路を新たに開拓することができました。

これらの結果、売上高は1,534百万円(前期比0.9%増)、営業利益は113百万円(同165.4%増)となりました。



今後の事業戦略について

総合リサイクル企業としての「競争力」を強化

集荷力の強化

安定的な循環資源の受入体制を整備。
当社ならではの高度な技術力と
高い安全性で高まるニーズに対応します。

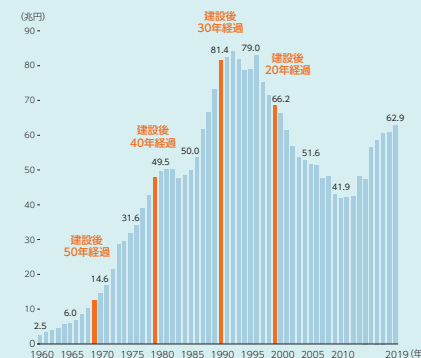
多角化

化学プラントや高層ビルなど
大型解体工事の請負体制の構築と
営業エリアを全国圏へ拡大します。

信頼性の確立

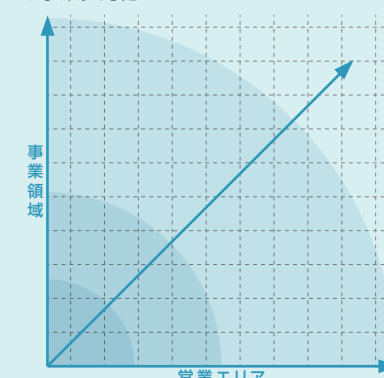
「安心」という付加価値の提供により、
顧客の持続的なパートナーとしての
信頼性を獲得します。

●建設投資額(名目値)の推移



今後30年間で解体事業の
市場規模は大幅な拡大が予想されます。

●事業多角化イメージ



事業領域と営業エリアの両面から
さらなる成長を目指します。

1級監理技術者の増員
⇒大型解体工事の積極請負



業界としていち早く
環境マネジメントシステム
(ISO14001)取得

「優良産業廃棄物
処理業者」
認定

「反社会的勢力排除」
研修会の
定期実施

会社概要

(2019年12月31日現在)

設	立	1984年8月
商	号	株式会社イボキン
本	社	兵庫県たつの市揖保川町正條 379番地
工 場 ・ 支 店	本社工場、龍野工場、阪神事業所、 東京支店、PMR工場、最終処分場	
資 本 金	130,598千円	
従 業 員 数	146名(連結)	
事 業 内 容	解体事業、環境事業及び金属事業に よる総合リサイクル事業	
連 結 子 会 社	株式会社国徳工業	
ホームページアドレス	https://www.ibokin.co.jp/	

役員一覧

(2020年3月26日現在)

代 表 取 締 役 社 長	高 橋	克 実
常 務 取 締 役	山 崎	喜 博
取 締 役	高 橋	守
取 締 役	高 見	武 志
取 締 役 (社 外)	永 津	洋 之
常 勤 監 査 役 (社 外)	戸 塚	い づ み
監 査 役 (社 外)	朝 生	一 夫
監 査 役	富 高	重 則

株式の状況

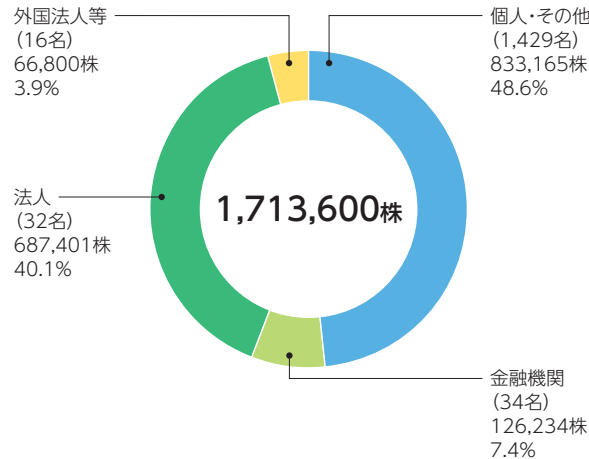
(2019年12月31日現在)

発行可能株式総数.....6,400,000株
発行済株式の総数.....1,713,600株
株主数.....1,511名
大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
HS興産株式会社	640	37.48
高橋克実	140	8.20
高橋勇史	80	4.69
イボキン従業員持株会	53	3.15
SMBC日興証券株式会社	33	1.99
松井允三	33	1.97
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNY GCM CLIENT ACCOUNTS M LSCB RD	32	1.90
楽天証券株式会社	20	1.19
山崎喜博	20	1.17
高橋 守	18	1.05

(注)1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式(6,190株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



大型シュレッダー選別機を導入しました。

当社の環境事業セグメントでは、さまざまな使用済製品のリサイクルを行っています。小型電子機器や家庭用電気製品などの金属系産業廃棄物のリサイクルに対するニーズは近年高まりつつあります。このような市場環境の中、この度、産業廃棄物処理の主力工場である本社工場の大型破砕機を最新鋭の設備に更新しました。この設備の導入により、排出事業者様のニーズにお応えするとともに、環境保全に対する社会的責任を果たして参ります。



重量物撤去サービスを開始しました。

ビルやプラント解体のほか、2018年6月よりイボキン社内に施工チームを立ち上げ、屋内等での特殊な環境の中で行う大型医療機器や産業機器の解体・撤去などの重量物撤去サービスを開始しました。案件の特性に応じて柔軟に対応し、排出・撤去・リサイクルまでの一連のサービスを提供させていただいております。また、排出されるスクラップ及び廃棄物も適正な価値及び処理を行うことでさらなるシナジーを生み出しております。



ホームページのご案内

詳しい企業情報や財務情報は、
当社ホームページをご覧ください。

イボキン

検索

